

鹿骨東小学校応援団実践報告書

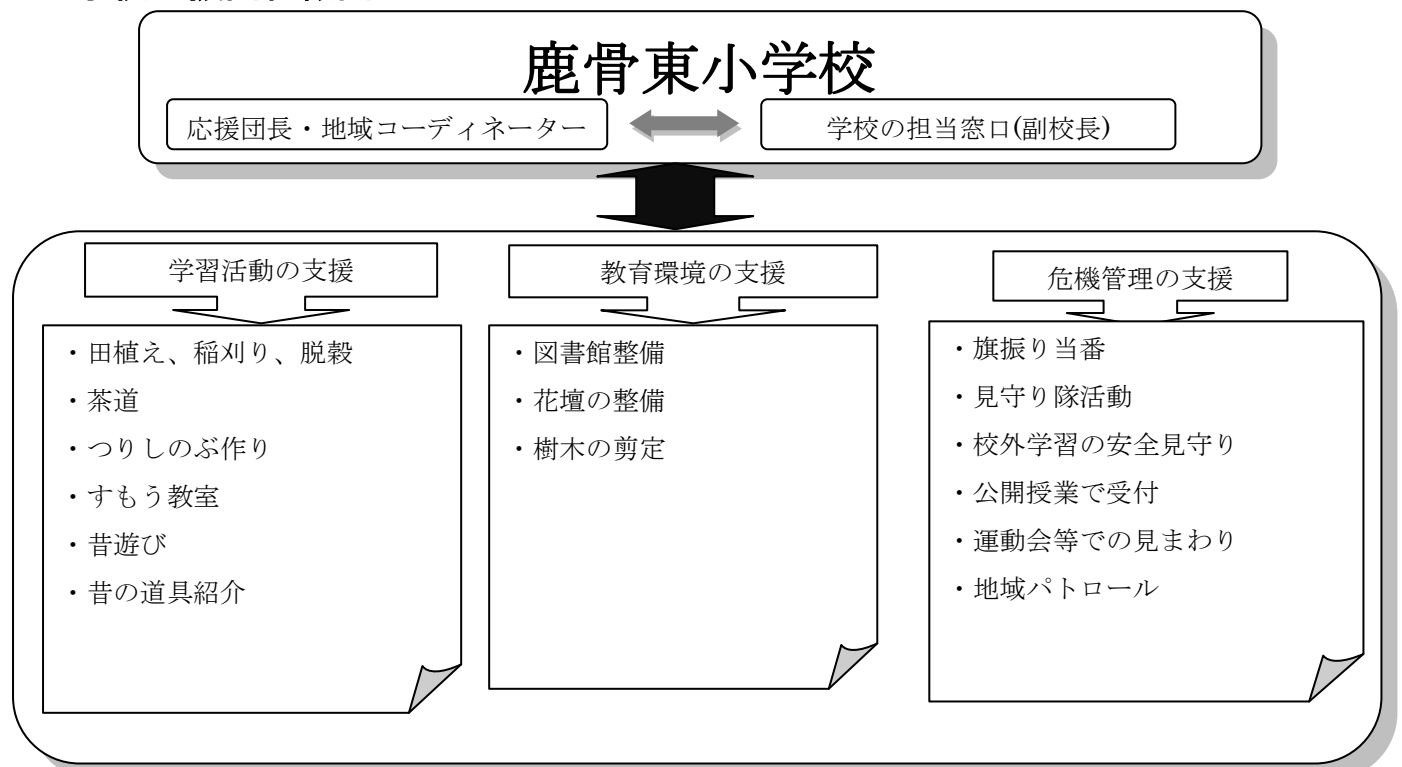
1 校長及び学校応援団長・コーディネーター氏名

鹿骨東小学校長 池田 朋光
学校応援団長 佐伯 慶隆
コーディネーター 板倉 勝身

2 今年度の活動内容

応援団の種類	名称	活動内容
安全・安心	旗振り 朝の交通見守り 安全教室 校外学習の引率 あいさつ運動	○登校時の安全を見守る。 ○通学路で登校の安全を見守る。 ○自転車教室等でのお手伝い。 ○校外学習をするときの安全支援 ○毎月第2木曜日に門の前でのあいさつ運動
学習活動	昔遊び 田植え・稲刈り・脱穀支援 すもう大会 小松菜収穫 戦争体験の話 昔の生活（道具）	○昔遊びの支援をして、一緒に楽しむ。 ○安全を見守り技術指導の支援をする。 ○安全を見守り技術指導の支援をする。 ○小松菜収穫体験の支援 ○社会科学習等で戦争について語る。 ○社会科の学習で昔の生活の様子を語る。
読書活動	読み聞かせ 図書室整備	○学級に入って本の読み聞かせをする。 ○本の修理や本の整頓を行う。

3 学校応援団組織図



4 今年度の成果と今後の課題

<成果>

- ・専門的な知識を得られたことで、体験活動が充実したものになった。
- ・図書ボランティアによる朝の読み聞かせにより、子どもたちが本に親しむことができた。
- ・地域のゲストティーチャーによる授業支援がどの学年も活発に行うことができた。
- ・朝の見守り隊を編成し、地域の方々に登校時の見守りを行ってもらうことができた。
- ・学校応援団の組織、活動内容について確認を行った。

<課題>

- ・下校時の見守りもできるように安全見守り隊協力者を募り、増やしていきたい。
- ・通学路の安全確保のため、登校時の見守りの人数を増やすように呼びかけたい。
- ・年に2回は学校応援団運営会議ができるよう早めの計画・周知をしていきたい。
- ・習字やそろばんなど学習支援のボランティアを開拓し、活動に組み入れたい。
- ・図書ボランティアの人数を増やし、活動を更に充実させたい。

5 代表より

学校応援団としての活動が学校や先生・児童のために本当に役立っているだろうか、かえって迷惑をかけていないかと常々考えています。

学校の教育活動の中で学校・先生と情報交換を密にし、地域社会の人的資源を通して日々の教育活動に役立つよう、そして児童たちが心身共に健やかに成長でき、学校・先生や児童に感謝されるような応援活動になるようにしたいと思います。

6 学校長より

鹿骨東小学校は、地域に学校に対する熱い思いをもっておられる方が大勢いらっしゃいます。

今年度も、学校応援団を中心に、保護者や地域の方々に様々な形で学習面・環境面・安全面等でかかわっていただきました。今年度はコーディネーターという新しいパートナーを得、応援団長と共に子どもたちを支援していただきました。子どもたちにとって『素晴らしい出会い』があり、豊かな心と確かな学力をはぐくむ夢の実現を支援する学校にしていきたいと思っています。